

ブラックスワン食糧保障メールマガジン 2024年06月06日配信号

「実は世界最古の文明は日本文明？」

6月に入り雨と快晴が交互に続く毎日ですが、思いのほか夜は寒く、周囲では風邪を引かれる方も多いように思います。皆様いかがお過ごしでしょうか。

引き続きお肉の価格はどんどん上がっていき、3か月ごとにお客様に値上げをお願いするのが定番になってきました。このサービスを開始した4年前から比べると、実に40%以上の値上がりです
(資料1.2.3参照)

このペースはどんどん加速していく可能性があります。

この急上昇の主な原因は、ここ数年で30%も悪化した円安なのですが、この円安について、国際政治学者の藤井巖喜先生は、今までとは全く違う流れになってしまったとおっしゃっています。

‘有事の円買い’という言葉をお聞きになったことがあるかと思いますが、かつては阪神淡路大震災、リーマンショック、東日本大震災などが起こった際には、大きく円高に振れていました。

世界的なリスクや大災害に際して一番低リスクなのは「円」であると世界中の人は考えていたという事です。なぜなら、我が国は世界一の対外純資産を誇っており、世界中にお金を貸していたからです。

ところが昨今のコロナショックやウクライナ戦争、能登半島地震に際しては、円高になるどころか、30年ぶりの円安になってしまっています。

勿論この対外純資産はまだ世界最高なのですが、以前ほどの稼ぐ力がなくなり、貿易赤字が定着しつつあるので、いずれなくなっていくだろうと世界の人々は見ているという事です。

エネルギーや食糧を世界中から安く買っていたのは、ここ40年ぐらい一貫して円高になっていたおかげで、少し前までは、我々の生活水準はどんどん良くなっていました。しかし、これからどんどん悪く、苦しくなっていく可能性が高いと思われます。

よく私は、「われわれ現代の日本人は、過去におじいさんやおばあさんが築いてくれた資産から上がってくる‘家賃収入’で暮らしている様なもので、たいして後世に残る、生産性の高いことはしていない」と言っておりましたが、世界最高の対外純資産に裏付けされた円高というのがまさにこれなのです。

と、まあ、いつもの暗い話はこれぐらいにして、我が国にはもっと‘壮大な歴史’という莫大な遺産があることを皆様はご存じでしょうか？

最近ではDNA鑑定や放射性炭素年代測定が格段に進み、次々と歴史上の大発見や定説の崩壊が始まり、どちらかという退屈だった歴史学や考古学は大変盛り上がっています。放射性炭素年代測定では5万年前でも誤差±10年と、とんでもない正確性が確立されています。

まず皆さんは社会や歴史の勉強をされたかと思いますが、以下の様なイメージをお持ちなのではないでしょうか？

1. 縄文人は狩猟採集が中心の原始人の様な生活をしていた。
2. 稲作や文化的なことは大陸や朝鮮半島から伝わった。
3. 最初の人類はアフリカで生まれ、日本にやってきたのはずっと後だった。

これらはすべて間違いである可能性が濃厚になってきました。

以下は3年前に国史研究家の小名木善行氏の動画を私が自分なりにまとめてみたものです。氏は多くの動画をYouTubeで配信されているので皆様もぜひ見てみてください。

我が国の皇紀は2700年ぐらいであるが、もちろんそれ以前の歴史もあり、戦前でも縄文式土器の最古のものは15,000年前の物があった。
戦後になって昭和26年には30,000年前の磨製石器が発見された。
それまでは世界では8,000年前の物が最古とされていた。
そしてさらにその後、38,000年前の物も発見されている。

石器でいえば旧石器時代の11万年前の物が発見されており、クロマニヨン人よりも日本人が古いことになってしまったが、そもそもクロマニヨン人は白人の祖先で、黄色人種の日本人には関係のないことが最近のDNA解析で分かっている。

日本人はネアンデルタール人の痕跡を最も多く残すDNAであることがわかり、日本人の歴史が最も古く、日本文明が最古の文明である可能性すら出てきている。
人類がアフリカから出たのは10万年前と言われているが、日本は12万年前からの遺跡があるので、そもそも年代が合わない

日本は12万年前の物から今日まで、きちんと連続して遺跡が出てくるが、朝鮮半島では12000年前の遺跡が出たが（恐らく捏造）その後5000年後の7000年前まで何も出てこない。中国も同じく7000年前ぐらいからの遺跡は出てくるが、その前は北京原人の70万年前まで飛んでしまう（これも恐らくウソ）
因みにこの7000年前の遺跡から出た人骨をDNAで鑑定した所、日本人であることが判明し、中国側は黙り込んでいます(笑)
（黄河文明より以前の長江文明、因みに黄河文明はコーカソイドでヨーロッパ系。
つまりどちらも漢人とは関係なかった）

- * この点に関しては武田先生も7000年前以前はこの地域は寒すぎて、人が住めなかったはずであるとおっしゃっていました
- * 逆になぜ7000年前から中国大陸や朝鮮半島に日本人が住むようになったかも小名木氏は動画で解説されています

また縄文時代の火焰土器の方が弥生式土器より装飾性が高く、当時の衣服も染色がされ刺繍すらされていた。
弥生式土器の単調な物や、弥生人の簡素な白い衣服をみると、弥生人は争乱で襲われたり、寒冷化で農業ができなくなって‘着の身着のまま大陸から逃げてきた人達’と考える方が正しい。

稲作についても3000年前ではなく、8000年前から行われていたことがわかり、弥生人によってもたらされたものではない様である。
コメのDNAに関して日本は4種で朝鮮半島は2種なので、日本から厳しい環境に適した良いものだけが伝わった可能性が高い。

そして何より素晴らしい事は、縄文時代の遺跡からは、戦いのための武器が一切出てこず、戦いで殺されたような人骨が一切出ていないという事です。

- * 皆さんぜひ青森県にある三内丸山遺跡に行ってみてください。ここでも栗のDNA鑑定により、拾った栗ではなく、栽培した栗を食べていたことが証明されています。

食べていた栗のDNAが全て同じで、品種改良すら行われていた可能性があります。

如何でしたでしょうか？

結論を言いますと、世界最大の対外純資産がなくなろうが、食糧危機が来ようが、我々日本人は助け合いの精神で叡智を出し合い、何万年もの間、この地で繁栄してきたという事です。

この食料保障サービスが、その一助になれば幸いです。

長くなりましたが、最後に小名木先生の名言をご紹介します。

日本は‘助け合いで、食糧を共同で備蓄していくところから自然に国が始まっている。都とは米蔵という意味で、これを共同体の中心にして国づくりが始まった。

ブラックスワン食糧保障

草間 弘人

(資料1.2.3)

[20240606082954328.pdf](#)

[20240524104259193.pdf](#)

[20240510084508750.pdf](#)